



L2-Tech (先導的低炭素技術) 導入拡大推進事業

平成29年度要求額
3,500百万円 (4,000百万円)

背景・目的

- エネルギー消費量を抜本的に削減する大胆な省エネを進めるため、ベストを追求する発想でエネルギー効率が極めて高くCO2削減に最大の効果をもたらす技術を「L2-Tech」と位置づけ、導入促進をしているところ。
- 現時点で最もエネルギー効率が高い技術をリスト化し公表（平成27年3月）。
- 経済成長とCO2削減の両立には革新的技術の活用が不可欠であり、我が国が世界に先がけてL2-Tech導入による低炭素設備投資のビジネスモデルを実現し、低炭素技術イノベーションを牽引することが重要である。
- 一方でL2-Techは、先導的な技術であることから、初期費用が高額となるだけでなく、設備の入替え時に発生する導入障壁が多く想定されている。また設備の稼働実績についても乏しいため、普及拡大を進めるにあたり、これらの情報を網羅した展開性の高い導入事例の創出が必要。

事業概要

(1) L2-Tech導入拡大モデル事業 (3,320百万円)

複数のL2-Tech等を組み合わせることで、CO2削減シナジー効果を発揮する設備・機器を導入し、L2-Techシステム・パッケージとして最適運転することで効率を最大限向上するモデル事業を推進し、当該パッケージの普及を推進する。L2-Techシステム・パッケージとして、L2-Techを積極的に導入しようとする事業所に対して、導入に要する経費の一部を支援する。

また、導入に関する様々な障壁と安定稼働に関する情報を収集・公開するとともに、展開性の高い優良事例についても公開し、大幅なCO2削減を誘導する。

(2) L2-Techリストの更新・拡充・情報発信 (180百万円)

平成28年度までに策定された対象技術のリストを更新するとともに、エネルギー消費効率以外の機能であって、CO2削減につながるもの（NEB：Non Energy Benefit、耐久性等）も合わせた総合的な評価手法の創出を行う。また、先導的低炭素技術の情報やL2-Techシステム・パッケージの優良事例など集積していくためL2-Tech情報プラットフォームの運用により効果的な情報発信を行う。

期待される効果

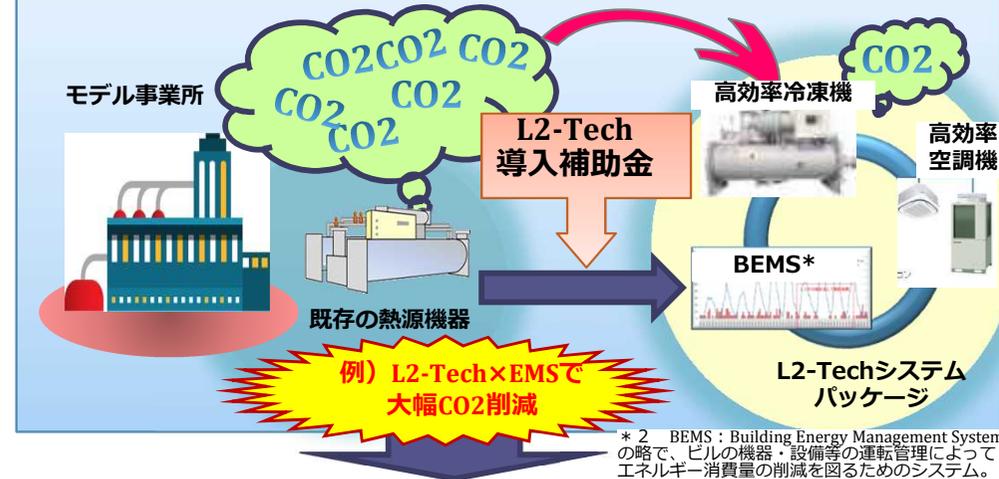
- L2-Tech (先導的低炭素技術) に関する体系的な情報を整備・発信し、メーカー・ユーザー双方がL2-Tech情報を利活用しやすい体制を構築
- 自発的なL2-Tech導入を誘導し、CO2排出量の大幅削減及び低炭素社会を実現

事業目的・概要等

(1) L2-Tech導入拡大モデル事業

イメージ

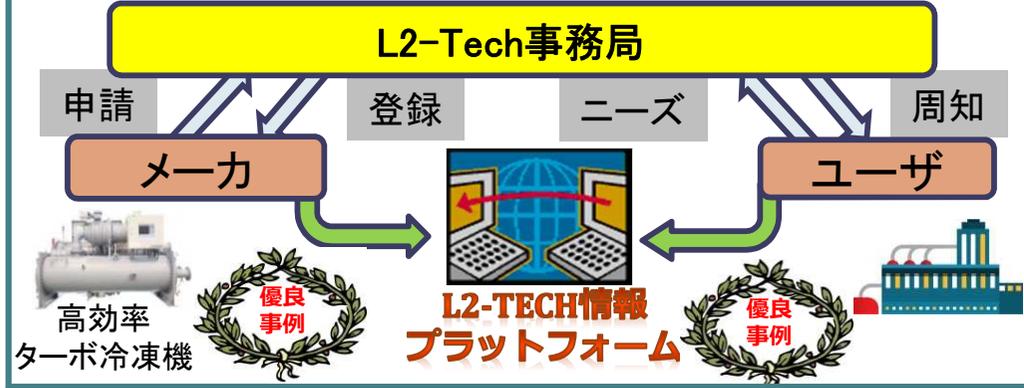
- 大幅なCO2削減効果が期待されるL2-Techをシステムとして導入



- 展開性の高い優良事例創出による大幅なCO2削減の誘導

導入障壁：設備の入替え時に発生する業務停止期間とその影響等
稼働実績：L2-Tech設備導入効果と計測、算出方法
L2-Tech設備の安定稼働データ等

(2) L2-Techリストの更新・拡充・情報発信



事業スキーム

実施期間：平成27～32年度

